

ミュージア川崎 セントラルタワー



所在地：神奈川県川崎市幸区大宮町1310番
 建築面積：9,593.13㎡
 延床面積：79,273.69㎡（業務棟）
 構造：鉄骨造（オイルダンパー付）、一部鉄骨鉄筋コンクリート造
 規模：地下2階、地上27階、塔屋3階（業務棟）
 設計：建築／神奈川地域支社建設課（株）松田平田設計、大成建設（株）
 設備／神奈川地域支社設備課（株）桜井システム
 施工：建築／大成建設（株）
 電気／きんでん・東光電気工事共同企業体
 竣工：平成16年3月

川崎駅西口に完成した超高層ビル「ミュージア川崎セントラルタワー」。先進のインテリジェント機能が導入されているオフィスフロアの照明は、システム天井の設備ラインにHf蛍光ランプ埋込器具を採用。あかりセンサによる調光で約20%以上の省エネが実現されています。

業務・商業・文化施設等が融合した快適な超高層インテリジェントビル

川崎市は現在、業務核都市の一つに位置づけられ「国際産業創造都市」の実現を目指して発展しつづけています。そのなかで、川崎駅西口地区第一種市街地再開発事業として進められている駅前広場に面した約1.3haの地域に、このほど“先端技術・情報・文化に出会うまち”の玄関にふさわしい各種施設を高度に集積した快適な超高層インテリジェントビル「ミュージア川崎セントラルタワー」が誕生しました。

このビルはペDESTリアンデッキによるスムーズなアクセスと豊かなオープンスペースが整備され、低層部には地区の玄関にふさわしい華やかで賑わいのある商業・文化施設が、中層部から上にはインテリジェントオフィスが配置された構成となっています。

基準階オフィスの有効面積は2,000平方メートルで最大4分割を可能とし、大きな窓と天井高さ2.7m、17.5mのロングスパンによる柱のない開放的な執務空間となっています。

システム天井にHf器具を採用し、あかりセンサによる調光で20%以上の省エネ

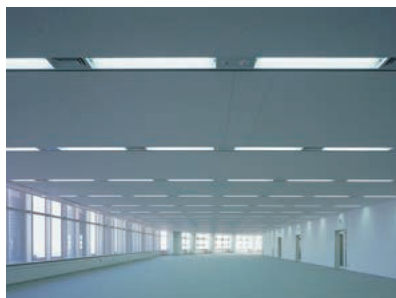
オフィスフロアは5階から27階に配置されており、エアバリア空調システム（窓際温熱環境改善を図るシステム）や自然調光システム（照明の自動調光）、鍵管理システムなど、安全・快適でかつ地球環境に配慮した計画となっています。

オフィスフロアの天井は大幅な省力化と工期の短縮が可能なシステム天井（長尺コールド工法）Tライン・ダブルタイプが採用されています。設備ラインの片側にはTバーを1本、一方の片側にはTバーを2本設け、そのスリットを空調吸込口に使用しています。3.2mピッチで設けられている設備ラインには、照明器具（32WHf蛍光ランプ2灯用OALルーバ取付可能形埋込器具）をはじめ、非常灯、空調アネモ、スピーカ、各種感知器を配列しています。

照明における自然調光システムとして、窓際からの昼光利用適正照度制御及びランプの初期照度補正制御を目的としてあかりセンサをオフィス内に配置し、過剰な明るさ（平均設計照度1100lx～750lx）を自動調光して省エネを図っています。消費電力量は調光なしの場合と比較して約20%以上の削減効果が発揮されています。

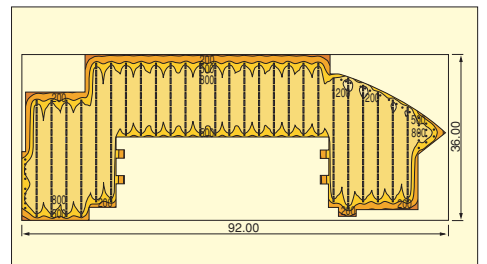


27階オフィスフロアの照明：システム天井の設備ラインに32WHf蛍光ランプ2灯用埋込開放形器具をはじめあかりセンサ、空調アネモ、各種感知器等を配置

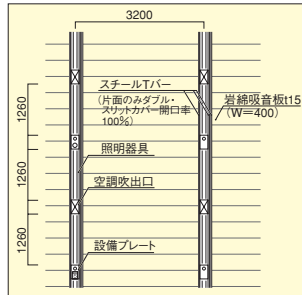


基準階オフィスフロアの照明

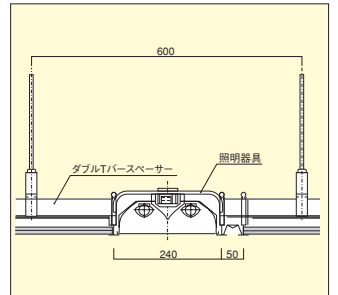
●基準階オフィスフロアの照度分布図



●システム天井の割付図



●システム天井の断面図



設備ラインに配置されたあかりセンサとスプリンクラー

■主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
オフィスフロア	システム天井用照明器具	FHM-42510-PD (改)	7,728	32WHf蛍光ランプ×2
		FHD-42000-PS (改)	720	42Wコンパクト形蛍光ランプ×2
	ダウンライト	FHD-31007-PS	16	32Wコンパクト形蛍光ランプ
		FHD-2762NB (E) EL (改)	88	27Wコンパクト形蛍光ランプ